

# 平成16年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	69	学校名	茨城県立竜ヶ崎南高等学校				課程	全日制普通科		学校長名	大山 清					
教頭名	小倉 培夫								事務(室)長名	中山 隆裕						
教職員数	教諭	30	養護教諭	1	常勤講師	9	非常勤講師	2	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	48
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計				
	普通科	115	80	107	71	137	65			359	216	575 16クラス				
	科															
	科															

## 2 目指す学校像

教育基本法並びに学校教育法の精神に則り、地域社会の要望に応えながら、豊かな人間性と人格の形成を図り、社会に寄与する人間の育成を積極的に推進する。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	基礎学力を更に徹底する必要がある。	基本的事項について繰り返しの指導をどう徹底するか。
進路指導	教師側の手を入れてはじめて進路意識が喚起される。	将来の目標・目的をもてるような指導をどう展開していくか。
生徒指導	基本的な生活習慣確立の指導を更に継続して実施する必要がある。	保護者と共に行う繰り返しの指導をどう推進していくか。
特別活動	生徒自ら企画し、自ら動く活動が望まれる。	生徒による自立的活動やボランティア活動などへの参加促進をどう進めるか。

## 4 中期的目標

1	基礎学力養成を通して、自発的学習の習慣化を図り、更なる学力の向上に努める。
2	一人ひとりが自分に合った将来を見つめる進路指導を推進し、個性の伸長に努める。
3	規則正しい生活習慣をとおして、基本的・自立的生活習慣の確立に努める。
4	体育活動や文化活動を奨励し、強健な心身と豊かな情操の育成に努める。
5	勤労や創造の喜びを体験させ、奉仕の心と望ましい勤労観の育成に努める。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	心の教育の充実をめざす ----- 教師全員による、組織的・具体的な生徒指導をめざす 生徒が将来の目標・目的のもてる進路指導をめざす 志願者が1.0倍を超える学校をめざす	挨拶ができて、相手の心の痛みが分かり、ルールを守れる生徒の育成を図る。ボランティア活動への参加を奨励する。 定期的な服装容儀指導を徹底する。 全員による、昇降口での朝の生徒指導を1年間継続する。 HRでの指導や面談での指導を重視し、進路指導室や図書室等で自分の進路についての情報を探させる指導を行う。 管理職、教員による中学校の訪問を行い、本校PRに。 在校生徒による出身中学校の訪問を実施する。	
2年次	心の教育の更なる充実をめざす 組織化され、生徒・保護者に理解される生徒指導をめざす 工夫された授業を通じた基礎力・応用力の養成をめざす 将来のより具体的な目標・目的がもてる指導をめざす	挨拶、思いやり、ルール遵守を更に徹底させ、嘘をつかない、感謝の気持ちと自分の考えの持てる生徒を養成する。 教員間で報告・連絡・相談を励行し、カウンセリングマイノットをもって指導にあたり、保護者との連携を図る。 ノート指導、授業の受け方、予習復習の仕方の指導の徹底をし、宿題・課外授業・学習合宿等を通して応用力をつける。 あらゆる場面で、自分の将来を考えさせる意図的な指導を実施し、自分に合った将来の仕事を意識させ、具体化させる。	
3年次	学習面で、基礎力・応用力のついた生徒の養成をめざす 特別活動面で力のある生徒の養成をめざす 目標・目的を実際に実現させるための指導をめざす 志願者がたくさん集まる、信頼される学校をめざす	授業の作業化・行動化を図り、生徒を動かすことを通じて生徒の学習を深め、基礎力・応用力をつける努力をする。 自ら企画立案ができて、自ら動ける生徒会を育成する。 参加者の多い部活動・ボランティア活動を推進する。 自分の好きな分野で、自分にあった将来の仕事を、実際に実現させようとする生徒の努力を支える。 地域に信頼される行事を学内で実施し、また本校のPRに努め、地域住民や中学校の信頼を獲得する努力をする。	